



社会福祉法人

# 群馬いのちの 電話だより

Vol.71

2022.12



赤城山と小泉稲荷大鳥居周辺のコスモス畑（伊勢崎市）

ひとりで悩まずに…

相談  
電話

**027-221-0783**

相談受付時間 9:00～24:00（年中無休）  
毎月第2、4金曜日は**24時間受信**

フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」

**0120-783-556**

毎月10日 8:00から翌日8:00まで

ナビダイヤル **0570-783-556**

毎日 10:00～22:00 ※有料

# 群馬いのちの電話開局30周年を迎えて

群馬いのちの電話は、本年10月3日に開局30周年を迎えました。30周年の記念事業として、記念式典および記念公開講演会の開催と記念誌の発行に取り組んできました。

記念式典と公開講演会は10月1日（土）、昌賢学園まえばしホールにて開催しました。

記念式典は、下城茂雄理事長の式辞、熊沢幸雄実行委員長の挨拶に続き、群馬県知事（代理・歌代昌文県健康福祉部長）、前橋市長、高崎市長（代読）、県社会福祉協議会会長、日本いのちの電話連盟常務理事各位から、それぞれ心温まる祝辞をいただきました。

続いて、開局貢献者の矢島祥吉、晶子ご夫婦と鈴木育三理事より開局当初のお話等のスピーチがありました。その後の感謝状贈呈では、この活動を永年支援してくださった企業と個人の方、また開局以来30年間ボランティアを続けてきた1期の方々等に、それぞれの感謝状が贈られました。感謝状を授与された代表の方からは挨拶がありました。

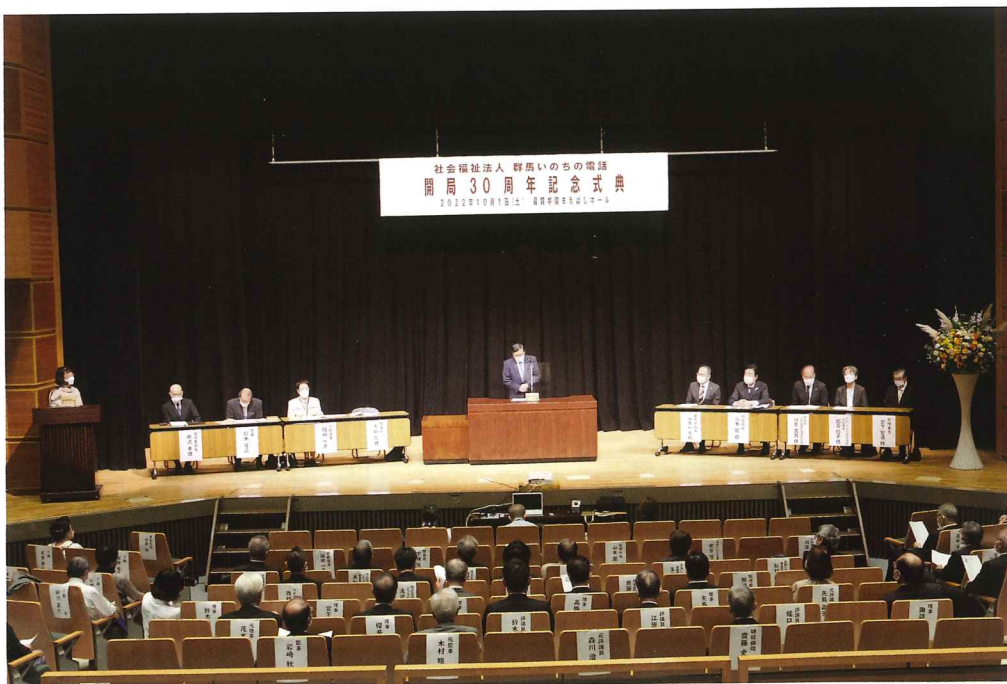
その後、30年の活動を写真とナレーションで紹介するスライドショーが映され、懐かしい写真を見ながら開局当初に想いを寄せあう時間を皆で共有しました。

式典の終盤には、弦楽合奏団「フルッタアウトゥナーレ」による演奏があり、爽やかな演奏に心とむひとときとなりました。

最後、今井洋事務局長が、谷川俊太郎の詩「生きる」を朗読して式典を締めくくりました。

午後からは、同じ会場で記念公開講演会が開催されました。『「つながっている社会」を創る』と題して、前橋工科大学理事長の福田尚久氏が講演しました。講演の要旨は次頁に掲載しました。

記念誌「こころを聴いて30年」には、30年間のあゆみ、関係者から寄せられたメッセージ、30年間の統計の他、「相談員の想い」をテーマに、相談員の方たちの電話ボランティアに寄せる想いを掲載しています。



30周年記念式典の開始



午前9時スタッフ集合



受付風景



矢島夫妻による開局当時のお話



鈴木育三氏スピーチ



感謝状を贈られた1期生の皆さん



支えて下さった方々への感謝状授与



30年の活動を伝えるスライドショー



谷川俊太郎「生きる」の朗読



弦楽合奏団による演奏